

2023年度 一般社団法人 **示現会**
NO.10 (通算 NO47) 2023.12.4

事務局だより

事務所 ☎ 03-3824-9128

- 第77回示現会展に向けての委員会の実施
- 地方の活動報告
- 巡回展報告・愛知支部

裏面 ○<特集>巡回展報告・石川・京都支部
 インボイスについて

ウクライナ侵襲が始まり1年以上がたちました。悲惨な状況が続いている中、今度は中東での戦争。いつも犠牲となるのはごく普通の生活をしてきた人々。瓦礫の山と化した建物にだれが住んでいたのだろうと心が痛みます。
 平和への願いを改めて思います。

地方の活動報告

北海道示現会展開催

10月5日(木)～10日(火)
 道新ギャラリー

北海道示現会展が開催されました。今回は25点の作品を展示しました。会場となる道新ギャラリーは札幌市の中心街に位置する北海道新聞社大通館の7階にあり、交通の便が非常に良いところです。
 連日大勢の方が見えました。次年度は令和6年9月24日(火)～29日(金)の日程で開催を計画しております。

北海道示現会 岩佐邦夫



京都支部で写生会

10月21日(土)
 京都市伏見区酒蔵周辺

伏見区は昔から大きな河川が有り良質な地下水に恵まれ酒造業が発達して酒蔵が集まり趣の有る街並み、水運が発達し現在は遊覧船『十石舟』の運航など京都有数の観光地の一つで有ります。春は桜、秋は紅葉。空と樹と建物、今回は少し肌寒い日でしたが17名が参加、思い思いの場所で水彩やスケッチに取り組みました。3時頃からは支部長荒井先生の講評を受けお互いに新鮮で有意義な時間を過ごせました。現場写生は規制に気を使いながらも仲間との開放された楽しいひと時でもあり終了後は現地解散となりました。

(現地説明はWeb ページを参考にいたしました。「京都市伏見区」「NP0 法人伏見観光協会」)

京都支部庶務係 石川貞夫



名古屋展 1858名 鑑賞に訪れる



愛知支部長 小島 兼一

来館者は案内や新聞等で知り、ある市の市長さんや市議会議員さんを始め、この会の作品が好きで必ず来られる方、グループで来られる方、知人・親戚の方等さまざまであつた。どの方も熱心に作品を観て、感想を述べあつたり批評しあつたり、出品者と作品について深く話をされていた。また、その場で絵を通して話が弾み、交流を一段と深めることができた。

7月19日(水)の指導会では、成田禎介理事長にお越し

は、また、搬入搬出時の役割分担や準備等は、総会時に打合せがすっかりできており、当日も大変スムーズに準備、片付けができた。

名古屋巡回展では、本部からの作品60点と愛知県三重県静岡県から36点が展示された。支部展では、全国展に出品した者のほかに17名の者が支部展のみに出品し、来年度以降に向けた広がりを示す展示ができた。

さらには絵を通して社会貢献についても語られ、制作する者にとつて素晴らしい励ましの言葉となった。

最後に先生ご自身の作品への想いを語られ、「絵は上手下手ではなく、観る人の心に触れるものであつて欲しい」と力説された。

いただき、一つ一つの作品や作者の想いを大切にしたいご助言やご指摘を受けることができ、出品者は大変満足のいくものであつた。

委員会実施

12月20日より最後の支部巡回展が福井で開催されます。そして、次の示現会展に向けての準備も始まり11月5日(日)第77回示現会展に向けての検討を議題とした委員会を実施いたしました。

出品申込書、応募要領、ポスター、入場券、案内状等を検討しました。また、展覧会に関する日程表、各支部に於ける巡回展の日程などが示されました。それらに合わせて上半期の日程が決まりました。

今後の予定

12月17日(日)	リモート研究会
1月14日(日)	リモート研究会
2月13日(火)	会計監査 理事会
2月18日(日)	リモート研究会
3月5日(火)	定時会員総会
3月23日(土)	24日(日) 作品搬入
4月3日(水)	第77回示現 会展開始 懇親会

第77回示現会展に向けて

巡回展報告

特集1

巡回展も12月20日より開催される福井展で終了します。
地域文化の向上にも貢献し、多くの方々が鑑賞されました。
京都展では3000人以上の来館者の報告がありました。一人一人素晴らしい作品が会場を飾った成果とも言えます。

巡回展報告

104点の作品を鑑賞

金沢展

細やかな筆致光る104点

県立美術館 示現会金沢展が開幕



具象絵画の秀作を鑑賞する来場者
—石川県立美術館

洋画の第76回示現会金沢展（示現会、同会石川県支部、北國新聞社主催）は6日、金沢市の県立美術館で始まり、細やかな筆致が光る風景や人物の具象絵画104点が並んだ。

4月に東京で開催された本展の巡回展となる。本部の基本作品は、春の山を題材とした成田順介理事長の「高原」、西洋の町並みを描いた佐藤祐治常務理事の「教会のある村」のほか、示現会賞を受賞した吉塚春生さん（白山市）の「母子像を仰ぐ娘」など秀作60点が展示された。

県支部からは44点が披露され、松本隆支部長の「雪解けの白馬山麓」、北國新聞社が設ける北示賞に選ばれた明光太郎さん（小松市）の「ひととき」などが来場者の関心を集めた。開場式後、佐藤常務理事が作品を紹介した。会期は10日までで、入場は無料。8、9日の午後1時半から吉塚さんが作品解説する。

金沢巡回展は7月6日（木）～10日（月）にかけて、石川県立美術館において開催しました。オープニングでは、主催者である示現会常務理事佐藤祐治先生、北國新聞社事業局次長の挨拶に始まり、後援として石川県の代表者様、金沢市の代表者様から祝辞をいただき、テープカットにより、オープンしました。

マスコミとしては、テレビ局3社、ラジオ局様。特にテレビ金沢様、北陸放送様にはニュース報道していただきました。今年も1,286名の方に安らぎを与える104点の絵を観賞していただきました。また、一水会、光風会の代表者の方々にもご来場いただきました。来年の示現会金沢展は令和6年10月3日（木）から7日（月）となっております。

石川県支部長 松本 隆

京都展 有意義な勉強会

第76回示現会京都展・巡回展（京都市京セラ美術館）
令和5年9月を終えて

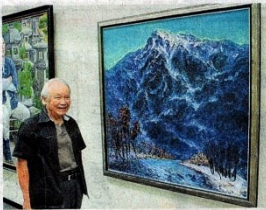
猛暑の中、大汗を流してスケジュールをこなし、久しぶりの別会場での授賞式。多くの方に観て頂く事によって作品として完成していく喜びを得る一週間した。

終了直後荒井支部長より「会期中、毎日会場に居て感じた事は支部員一人一人が受け付けは勿論、来場者への対応等細心の気配りのお陰で今回は3200名以上の入場者があり大盛会となりました。感謝です。」との挨拶があり閉会となりました。

勉強会では錦織先生の甘辛批評を時間の限り頂き、具体的な色の使い方や、絵の具を混ぜるのはパレットの上では無くてもキャンパスの上で、他の先生方と違う視点での考え方など興味深い所があり、あつと言いつきのひと時でした。芸術を心の栄養とし、制作に臨む。

事務局庶務係 石川貞夫

90歳の絵 初出品で佳作 加賀・田島さん 示現会金沢展



田島さん
金沢市の県立美術館

金沢市の県立美術館で開かれていた洋画の示現会金沢展（同会、同会支部、北國新聞社主催）で、加賀市上野町の田島昭夫さん（90）の作品が注目を集めている。田島さんは4月に東京で開催された本展に初出品し、佳作賞を受賞した。14日で91歳となるベテランの重厚な筆致が来場者を魅了している。

田島さんは金沢教育大学卒業後、中学校の美術教師となり、会派に所属せずに絵を描き続けてきた。示現会支部の清坐繁事務局長が田島さんの絵に感動し、本展への出品を打診した。入賞作「五竜岳」はS50号で、人生を思いながら山肌や川の水面の細かな色彩の変化まで描き込んだ力作となる。田島さんは「自分の作品を通じて絵に興味を持つ人が増えてほしい」と笑顔を見せた。



第76回示現会京都展 表彰式の前に ホテルオークラ京都

<インボイス制導入についての留意点>

1. 取引ごとの入力
○1取引ごと（1つの請求書ごと、1つの領収書ごと、1つのレシートごと）に入力。日付は、実際の取引日
2. 証憑の保存
○必ず取引先自体の請求書も保存
3. 講師謝金
○謝金の領収書を受領する際は、源泉控除前の謝金金額を記載
源泉税 5,685 円が控除され、本人の手取が 50,000 円の場合、源泉控除前の 55,685 円を記載
4. 内容が空欄（またはお品代）の領収書
○レシートが発行される取引については、基本的にレシートを保存
5. 手書きの領収書
○内容を記載した領収書にする
6. 日当・手当に関する領収書
○日当や手当に関しても、受領した本人の領収書で保存
7. 収入取引に対して交付したインボイス（領収書・請求書）の控えの保存
○インボイス制が導入されると、収入取引に対して交付したインボイス（領収書・請求書）の控えの保存が必要となります。事業者から受領する広告料等に関しては、インボイスを交付すると思われますので、そのような場合は、交付した領収書・請求書の控えの保存

特集2

支部、各係での金銭の取り扱いに関して